

補助金の交付等について引き続き支援をしていくことにしています。

医療環境の整備について

問 医師確保の取り組みと今後の対応について伺いたい。

答 大洲病院では、産婦人科の後任医師の確保、小児科の常勤医師の確保について大学に派遣の依頼を続けてきましたが、現在見通しがなく、休止せざるをえない状況となっています。

取り組みとしては、平成16年10月に管理型臨床研修病院の指定を受け、昨年5月から臨床研修医1名を受け入れている。また、今年度から愛大医学部6年生を臨床選択実習生として受け入れており、将来の医師確保につながるものと期待しています。

今後も引き続き大学と緊密な連携を図るとともに、臨床研修医の受け入れ体制を強化するなど、医師確保に努めたいと考えています。

農業政策について

問 品目横断的経営安定対策について伺いたい。

答 同対策は平成19年度から、米・麦・大豆を対象に新たな助成制度として実施されていますが、対象となる担い手農家の基本要件は、経営面積、農家所得、集落営農組織での営農が主な要件となっています。要件に満たない小規模の農家は、愛媛たいき農協で組織している農事法人「グリーンたいき」の構成員となることで交付を受けることができます。

現在の大洲市の状況は、



助成事業により栽培される大豆

個人で交付を受けられている農家が1戸、「グリーンたいき」の構成員として参画されている農家は19戸となつています。

また「担い手アクションサポート事業」は担い手の育成を目的として今年度より導入し、多岐にわたる担い手支援制度の総合的な窓口を設置することとしています。

ダム建設について

問 今回提案のダム対策予算の内容について伺いたい。

答 ダムの建設については、土地・家屋等の水没だけでなく、地域の生活基盤や地域社会そのものが、広範囲にわたり大きな影響を受けることから、地域住民の意見を反映しながら総合的な地域振興計画を策定し推進することにより、ダム建設による影響を緩和する必要があります。

このことをふまえ、今後は検討してきた地域振興計画の素案に基づく各種事業について、愛媛県が平成20年度に策定を予定されている

水源地域整備計画に位置づけたいと考えています。平成19年度内には、水源地域再建計画の素案を確定する必要があり、その必要経費として、道路改良11路線のほか、工用プラント跡地の利用計画、共同墓地等についての検討を行うことにしています。

肱川の河川整備について

問 堤防整備の進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。

答 現在の進捗状況は、長浜地域では現在大和(郷)地区及び長浜中学校付近からの工事が進んでおり、平成19年度は長浜大橋付近の設計協議を完了させ、用地調査及び用地買収を実施し、順次工事に着手する予定です。また、大和(郷)地区の事業は今年度で完了し、引き続き上老松地区の事業に着手したいと聞いています。

次に、無堤地区である多田地区、阿蔵・久米地区、菅田地区の工事並びに柚木・如法寺地区では実施設計に着手されており、阿蔵・久

米地区は今年度末の完成を予定されています。

また、菅田地区は整備区間が長いことから、計画中期で計画プランの上流から逆なげ橋上流までの整備を予定していると聞いています。既に逆なげ橋上流までの築堤の詳細設計を終え、順次用地買収を進めるとともに、一部昨年度から工事に着手されています。

今後については、今年度久米川河川災害復旧助成事業が完成予定であることから、愛媛県に対し菅田地区の早期完成に向けた予算の確保等を強く要望していきたいと考えています。



急ピッチで進む久米川改修工事